

J 感染情報が伝わらず混乱をきたした 高齢夫婦の事例

- **82歳女性、要介護4重度混合性認知症**。軽度物忘れがある86歳の夫が介護(二人暮らし)。夫は糖尿病、高血圧、心不全で近医通院中。同じ建物の2階に長男が居住しているがひきこもりで介護力なし。都内在住の長女は同時期感染しホテル隔離中(発症5日前に夫婦との接触)
- 1月16日にJさん利用中のデイサービスで陽性者+、接触歴は不明であったが、23日に保健所がPCR検査実施、関係者に連絡なし。
- **1月22日**にご夫婦同時に微熱と空咳、本人はその後無症状で経過も介護者の夫は微熱持続、夫はパニックになり、かかりつけ医ではなく当院に頻回に電話相談。ホテル隔離中の長女も取り乱した様子で頻回に電話をかけてきた。
- **夫**は26日に38.6度の高熱、25日に受けたPCR検査は**26日昼に陽性と判明**。Jさんが保健所で23日にPCR検査実施との連絡がなかったため、夫の発熱が持続している状況から、主治医が26日朝臨時往診し、JさんのPCR検査を実施した。
- **26日の夕方**にはJさんが受けた保健所でうけた**PCR検査で陽性**が判明した。ご夫婦の状況を伝え、療養の方法について相談するため、保健所に連絡をとったが、医療機関からの個別の相談は受けない、情報は家族から聞くように指示された。
- 病床ひっ迫している状況から、夫婦で自宅療養になる可能性が高いと考え、夫の主治医から情報提供を取寄せするなど、27日朝より訪問診療と訪問看護で集中的に支援する準備を整えた。27日朝保健所から夫のみをホテル隔離するとの方針が伝えられた。Jさんと夫が担当者が別でご家族だということを把握していないことが判明、急遽家族の介護状況と家族の情報、基本的な対応案(二人同時入院、病床がなければ二人同時に在宅で診療する案)を作成し、保健所長あてにFAXした。

J 本事例で経験した情報伝達の問題

- 保健所
 - 医療機関や介護事業所に情報提供なし(本人の検査、DSの感染状況が伝わってこない; 夫から往診時に偶然聞かされる)
 - 医療機関(主治医)からの個別の相談をうけない
- 関係者
 - デイサービス、CMから検査を受けているという情報提供が医療機関になし(重複して当院から感染者にPCR検査を実施)
 - 夫の主治医はコロナに対応できず。医療情報の迅速な提供がない
- 家族
 - 保健所は家族のみに情報を伝えるのが原則だが、家族が介護に関わっていない等の事情から医療・介護専門職には情報が伝わってこないことも少なくない
 - 保健所が個別の相談ができなため、遠方の家族からの相談が頻回(20回以上の電話)で、実際の業務に支障が生じた

J 討議ポイント

- 1 感染者の情報伝達の問題を解決するために、それぞれの地域でどのような仕組みを構築すればよいか、検討して下さい
 - * 保健所と医療機関・地域のサービス事業所
 - * 地域の医療機関とサービス事業所通しの連携
- 2 陽性者の情報だけでなく、診断が確定していない発熱者やPCR検査中の方の情報 that 正確に伝わるためには、どのような工夫や条件が必要か検討してください